



高浜小だより

令和7年12月2日発行
高浜町立高浜小学校



人権週間に寄せて

12月4日(木)～10日(水)は人権週間です。学校でも「相手を大切にする心」について考える時間を多くとっていますが、これは学校だけでは育ちきれない、大きなテーマです。子どもたちが毎日の生活の中で触れる“言葉”や“空気”が、人を思いやる力の土台になるのだと思います。

そんな中、今回紹介する2年児童の作文には、私たち大人が学ばされる視点がたくさんありました。作文を読みながら、「子どもの優しいまなざしは、家庭と学校で育まれているものだ」と改めて感じました。

この作文は、今の教育がめざす姿や、本校が大切にしたい「思いやりのある子」の具体像が、とても豊かにあらわれています。全文を紹介させていただき、ぜひ保護者のみなさまとも共有したいと思います。

2年児童の人権作文

「日本をへいわに」

わたしは、日本のへいわについて考えました。わたしは日本がもっとへいわになるように、少しでも力になりたいという気持ちがあります。ニュースなどで、せんそうやけんかがおこっているのを見ると、とてもかなしい気持ちになります。だからこそ、今へいわな日本を大切にして、これからもずっとへいわがつづくようにしたいと思います。

こまっている人や友だちがいたら、やさしく声をかけたり、助けてあげたりすることで、日本のへいわにつながると思います。小さなことでも「ありがとう」「大じょうぶ?」と声をかけ合うことで、みんながえがおですごせると思います。いじめをしないこと、わる口を言わないこと、思いやりのあることばを使うことも大切だと思います。学校でも、友だちとけんかをしてしまったら、しっかり話し合って仲直りすることを心がけています。

また、毎日みんなの顔をよく見て、悲しそうな人がいたら声をかけてあげたいです。みんなが仲良く助け合い、思いやりをもってこうできる日本にしたいです。そして、もっとしぜんを大切にして、人もどうぶつも

虫も木や花も、みんながしあわせにくらせる世の中になるといいなと思います。ごみをひろったり、水やでんきを大切に使ったりすることも、へいわな日本を守ることにつながると思います。しぜんがきれいな国であることも、日本のへいわの一つだと感じます。

わたしは、世界中のみんなにもしあわせになってほしいと思っています。わたしの住む高浜町には、いろいろな国の人がかんこうに来ます。その人たちに「日本はいいね」「高浜はやさしい町だね」と言ってもらえるようにしたいです。そのためには、日本人たちみんなが「日本をもっといい国にしたい」「力を合わせよう」と思うことが大切だと思います。外国人の人と出会ったら、えがおでいさつをしたり、日本のよいところを教えてあげたりしたいです。そうすれば、日本のあたたかさが世界にもっと広がると思います。

子どもも大人も力を合わせて、えがおあふれる日本をつくりたいです。おじいちゃんやおばあちゃんも、ずっと元気で安心してくらせるような国になってほしいです。そして、みんなが「へいわをまもりたい」という気持ちをもちつづけることが大切だと思います。一人一人のやさしさやこうどうがあつまれば、きっと大きな力になるはずです。

みんながやさしい気持ちをもってこうどうすれば、けんかや争いがなくなって、もっとへいわで明るい日本になると思います。これからもわたしにできることを見つけて、少しずつでもへいわな未来につながるようにがんばっていきたいです。

思いやりの言葉

いかがだったでしょうか。「ありがとう」「大じょうぶ?」のたった一言で、世界の空気が少しやわらかくなる——2年児童のその気づきは、きっと家庭での温かな言葉や、生活の中で感じた優しさから育めたものでしょう。“子どもの心のやわらかさは、大人の姿勢に支えられている”と、この作文を読んで強く思いました。つい忙しさに追われ、強い言葉を使ったり、気持ちに余裕がなくなったりすることもあります。私自身にも心当たりがあります。

しかし、子どもたちはそんな私たちを責めるこ

となく、ただ純粋に「人を大切にしたい」、「世界を良くしたい」と願っています。その優しさに触れると、「もっと子どもたちと向き合う自分であります」と背筋が伸びる思いがします。

人権週間は、子どもたちのための期間であると同時に、私たち大人が立ち止まり、自分の言葉や態度を振り返る時間・週間もあります。どうかこの12月、そして冬休みに向けて、ご家庭でも“思いやりの言葉”をぜひ意識してみてください。その小さな一言は、お子さまにとって、世界の優しさを信じるための灯りになります。そして、その灯りはやがて、この作文を書いた2年児童の願う「へいわな未来」へつながっていくのだと思います。

人権週間

10日が人権の日(国連人権デー)です。昭和23年(1948)12月10日、国連総会で世界人権宣言が採択され、「私たちは人間として誰も同じように認め合い、尊敬し合い、仲良く暮らします」と宣言しています。

人権週間や人権デーは、人権を大切にする考え方を広める活動を展開することが目的です。本校でも広報委員会がお昼の放送で呼びかけ、図書委員会は人権に関する絵本や本の特集を行っています。

また、「一人一人に違いがあることを理解し、お互に思いやり、助け合って生きていこうとする」ことをねらいとした「障がい理解教育」の授業を実施。11日(木)には、「人権紙芝居」をしていただく予定もあります。

今月6日(土)の参観日には、人権作文発表会と、各学級で人権を守る・大切にする授業を実施します。ぜひ、ご参観いただき、お子様と一緒に人権について考えていただけると幸いです。

11月の活動の様子



収穫祭(焼き芋づくり)



伝統文化クラブ(生け花)



発電所見学



校内マラソン大会



コドモノ明日研究所プレゼン大会



民生委員児童委員さん



中央図書館見学

保護者・地域のみなさま、11月もいろいろと
お世話になりありがとうございました

12月の主な行事予定

- 3(水) SASA2025[国・算](5年)
書写指導③(6年)、
3年総合発表[高浜公民館、10:00~]
- 4(木) SASA2025[社・理](5年)・クラブ
- 5(金) SC来校
- 6(土) 授業参観・人権作文発表会
集団下校 11:40
- 8(月) 振替**
- 9(火) 高浜すこやか会議(学校保健委員会)
3年校外学習[若狭消防署高浜分署]
- 10(水) 読み聞かせ(1・2年)
- 11(木) 人権紙芝居(3・4年)・委員会
郡特支学級合同学習会(おおい町)
- 12(金) SC来校
- 15(月) 門松づくり体験(6年)
- 16(火) 児童集会
- 19(金) 保護者会
集団下校 9:40
- 23(火) 2学期終業式
集団下校 11:25
- 24(水) 本日より冬季休業(~1/7)

